

奉祝 天皇陛下御即位三十年
 天皇皇后両陛下御結婚六十年



発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一
 志波彦神社 社務所
 電話 〇二二三六七-一六一(代)
 FAX 〇二二三六五-五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



東日本大震災から一年となる平成二十四年三月十一日、東京の国立劇場では犠牲者を追悼する式典が行われた。そのわずか三週間ほど前、天皇陛下は心臓の大手術を受けられていたが、たつての御意志によって式典に御臨席なされた。発災以降、被災三県へのヘリでの御見舞いを始め、陛下の懇切なるお励ましは、どれほど被災者の心を癒したことだろう。しかし、この時既に他の病で手術を受けられておられた陛下のお身体への御負担は大きなものであったろうが、己の身の危うさを顧みることなく傷ついた国民に寄り添い続けられた。二十八年八月八日、陛下は譲位の御意志をお示しになられる。「次第に進む身体の衰えを考慮する時、これまでのように、全身全霊をもって象徴の務めを果たしていくことが、難しくなるのではないかと案じています。」大きな災害の度、被災者一人一人に身をかがめて励ましの声をかけられる陛下の御姿を思い浮かべるとき、全身全霊」とのお言葉が胸を突く。更に、お身体の衰えとまで言及されたことは、国民にとつて衝撃であった。識者の解説などなくとも、御心痛を知った国民は譲位への理解を深めたのだ。敗戦後、昭和天皇は国民を励ます全国御巡行にあたり「宮内官たちは私の健康を心配するだろうが、健康とか何とかはまったく考えることなくやってほしい。」と述べられている。今上陛下は、先帝の御精神を継承され、ひたすら国民の為に責を果たそうと努められた。そして、その大任を継承することを決意された皇太子殿下。歴代継承される大御心と国民等しく心を共にして、新帝のもと祖国発展に努めてまいりたい。

花まつり 四月二十八日

三月の帆手祭、七月のみなと祭と共に「塩竈氏子三祭」に数えられる花まつり。

安永年間（一七七二〜一七八一）、早越による不作のおり、氏子らが当社に祈願したところ、気候・作柄が回復したため、報恩の意をこめて安永七年（一七七八）三月十日に神輿を出し御神幸したのが始まりとされています。

昭和六十年に祭典日が四月第四日曜日に変更され、現在に到っています。

祭典前日の午後八時、神輿は浄閣のうちに御神霊の奉遷を終え、当日は午前十時より本殿祭、正午より発興祭、またこれを見送る正午祭が斎行されます。神輿を担ぐのは、一週間前から襖を重ねた氏子たちです。覆面をし白丁に身を包んだ担ぎ手たちに奉昇された神輿は、各供奉団体を伴って終日市内を渡御されます。午後八時二十五分より、ライトアップされた表坂で壮大な神輿渡御が御覧頂けます。



鹽竈ザクラの日

五月十日

境内の桜のうち、染井吉野より少し遅れて五月の初め頃に見ごろを迎えるのが鹽竈ザクラです。

鹽竈ザクラは御製にも詠まれるなど古くから著名な品種で、国の天然記念物に指定されています。鹽竈神社の社紋は、この花を図案化したもので、「しおがまさま」を代表する桜です。

当社では五月十日を「鹽竈ザクラの日」と定め、桜の生



鹽竈ザクラ

第十七回

鹽竈神社観桜茶会

五月三日

今年も茶道各流派合同による鹽竈神社観桜茶会が左記の要項で開催されます。

◇主催

鹽竈神社観桜茶会

実行委員会

◇日時

五月三日

午前十時〜午後三時半

◇お茶券

二席一、二〇〇円（前売）

市内茶舗のほか各参加流派



◇お問合せ

事務局・滝井園茶舗

〇二二（三六二）三六一四

◇参加流派

表千家・裏千家・大日本茶道学会・織田流・玉川遠州流・表千家宮城県青年部
表坂上にて市民茶席（無料）あり

しおがまさま 神々の花灯り

四月十九日・二十日

鹽竈市青年四団体連絡協議会主催による「神々の花灯り」が四月十九日（金）、二十日（土）の夜、境内で開催されます。

午後六時半頃からロウソクの灯りが、社殿を始め参道や夜桜を幻想的に照らします。

舞殿では、古代笛・琴・琵琶・雅楽などが演奏されます。

鹽竈の恒例のイベントとなりました「神々の花灯り」。

ぜひ御参拝いただき、幻想的な夜のしおがまさまをお楽しみ下さい。



神楽・悠久の舞

第七十一回 奉献乾海苔品評会

去る一月十一日、当社を会場に第七十一回奉献乾海苔品評会が開催されました。

当社の産業振興大祭協賛会が主催する品評会は宮城県産海苔の品質改善と生産者の意欲向上を目的として、昭和二十三年に第一回を開催して以来、本年度で第七十一回を数える事となりました。

今期は採苗期から育苗期にかけては概ね順調に経過しましたが、水温の低下が遅れたことや、天候の良い日が続いたことによる栄養塩の不足もあり、生育の不良や色落ちが心配される状況でありました。

しかし海況の好転により徐々に回復し、質の高い海苔が生産されました。

本年は県内各地より一〇二点が出品され、厳正なる審査の結果、優賞(宮城県知事賞)に石森喜一殿、準優賞(塩竈市長賞)に三浦一郎殿のお二人以下、七十七名が入賞を果たしました。

当日は、鹽竈神社左右宮で感謝祭が執り行われ、続いて社務所大講堂で表彰式、直会が行われました。出品された乾海苔は当日祭務所に展示され、多くの参拝者が見学し、色・艶・香りを堪能していました。



優賞・準優賞作

入賞者 (敬称略)

優賞(宮城県知事賞)

代ヶ崎浜地区 石森 喜一

準優賞(塩竈市長賞)

矢本 三浦 一郎

吉等賞(東松島市長賞ほか)

矢本 相澤 太
矢本 野村 秀友
東宮浜地区 瀬戸 博之
東宮浜地区 我妻 貞俊
東宮浜地区 大石 顕
菖蒲田浜地区 伊丹 幸一

二等賞(全国漁業協同組合連合会賞ほか)

矢本 津田 大
矢本 阿部 雄美
矢本 三浦 正洋
石巻湾 丹野 侃
鳴瀬 手代木浩二
鳴瀬 石垣 久
鳴瀬 熊谷 義宏
鳴瀬 鹿野 拓洋

技術賞(東北海苔問屋協同組合理事長賞ほか)

参等賞

(アイサン工業賞ほか)

宮戸 門馬 雅則
石巻湾 本田 智章
鳴瀬 手代木千年
代ヶ崎浜地区 齋藤 吉勝
吉田浜地区 佐藤 建一
宮戸 石田 信英
宮戸 土井 安裕
矢本 津田 正次
仙南支所(亘理) 宍戸 敏浩
宮戸西部 尾形 文秀
宮戸西部 尾形 和秀
宮戸西部 小野 仙一
代ヶ崎浜地区 相澤 良弘
代ヶ崎浜地区 坂本 寿
松ヶ浜湊浜地区 大町 昭



展示の出品作

四等賞

(㈱サンエイ海苔賞ほか)

宮戸 門馬 壮一
宮戸 阿部 信弘
宮戸 菊地 勇
矢本 及川 輝明
仙南支所(亘理) 菊地 幹彦
石巻湾 阿部 明
代ヶ崎浜地区 相澤 栄喜
花淵浜地区 鈴木 享
要害地区 梶田 利一
吉田浜地区 鈴木 信悦

奨励賞

宮戸 栗石 博幸
ほか二十四名

産業功労賞

代ヶ崎浜地区 石森 圭太
ほか八名

なおこの内、優賞・準優賞の乾海苔は例年同様に、生産者の手により、常陸宮邸・東宮御所・秋篠宮邸、そして御所へ献上いたしました。

節分祭追儺式

今年一年の厄災消除・家内安全を祈願する節分祭追儺式が、二月二日・三日の両日にわたり計三五六名の年男・年女の奉仕により斎行されました。

志波彦神社前の特設舞台上より年男・年女が福豆を撒くと、集まった人々は御利益のこもった福豆に手をのぼしていました。

また、御協賛頂いた約八百点の福景品が用意され、福豆と一緒に撒かれた当りくじを



手に、交換所には長い行列ができました。

節分祭斎行に当りましては多くの方々御協力を頂きました。左記に世話人以下、御来賓、年男・年女代表、福景品協賛者および協力団体の御芳名を紹介いたします。

◆世話人

会長 佐藤 武志
副会長 佐藤 一臣
小島 勇馬
郷家 照夫
松本喜八郎
佐藤仁一郎
菅原 周二
櫻井ふみ子
鈴木 壱彦
大場 喜藏
大友 義雄
高瀬 聰

◆来賓

二月二日 塩釜警察署 副署長 小田嶋 亮

二月三日

伊達家第十八代当主 伊達 泰宗

◆年男・年女代表

二月二日 菅原 裕典 宮本 千尋
二月三日 安住 陽一 黒澤 俊実

◆福景品協賛者(順不同)

(株)菅原園茶舗・塩釜市商業協同組合・福寿司・ライフ&ファッシュョン たかはし・郷家第三齒科医院・漢方の塩釜芍薬堂・ホテルニュー小松好風亭・稲庭うどん瀧さわ家・翠松亭・(株)ビーシック・救心製薬(株)仙台営業所・クラシエ薬品(株)・大和生物研究所・日本クリニック(株)仙台営業所・ムサシノ製薬(株)・(株)バイタルネット・クロレラ工業(株)・(株)柳川商店・フランス料理レストランシエ・ヌー・和風スナックつた・大泉 光浩・(株)白寿殿・(株)白寿殿 大友義雄・松和産業(株)・塩釜地方卸売市場・(株)ごんきや・武田の笹かまぼこ・(有)今野商店・(有)宮本商店・宮本産業(株)・第一生命保険(株)塩釜営業オフィス・権現茶屋・大場酒店・(有)たかせさとし美

塩竈市 佐藤 昭
塩竈警察署長 小野寺雅美

宍室・写真屋さん21・春日屋商店・(有)松野・水野水産(株)・ココ・ユーロボトラーズジャパン(株)・勝山水産(株)・(株)佐々木勘商店・(株)ヤマス蒲鉾店・(株)松島蒲鉾本舗(合同会社)顔晴れ塩竈・(株)阿部平蒲鉾店・菓匠 榮太楼・(株)東日本ソルト 仙台営業所・東陽防災設備(株)・塩釜ガス(株)・ショップサトー 佐藤良明・(公)仙台屋製麺所・(株)北浜フーズ・(株)小島蒲鉾店・渡辺米穀店・(株)八百大・(株)直江商店・キクニ(株)・すし哲・日野不動産建築設計事務所・矢部園・(株)石井商店・進藤 正毅・えびすや釣具店・(株)阿部善商店・丹六園・(株)ヨークベニマル塩釜店・大黒寿司・(有)増友商店・蜂屋食品(株)・丸勝会館・阿部勘酒造(株)・(株)佐浦・和食の小島・(有)鈴忠・武田の笹かまぼこ・いな長・(株)でん六 仙台支店・仙台味噌醤油(株)・(株)小西美術工藝社・(株)松田製粉・日本住宅(株)・マルマ佐々木水産(株)・(株)一ノ蔵・(株)阿部電工

◆協力団体(順不同)

宮城県美容業生活衛生共同組合塩釜支部・(株)みなと建築工房・(株)栗原木工

帆手祭斎行

去る三月十日、氏子三祭の一つであり塩竈に春を告げる「帆手祭」が斎行されました。帆手祭は天和二年(一六八二)に大火災の頻発や景気低迷に対し、火伏せと景気回復を鹽竈大神に祈願したのが始まりです。

当日は、神輿世話役会、神馬組、先陣組、御供役会、少年武者組、神子組、後陣組と総勢五百名ほどの大行列が御供を務めました。

御神輿は市内各御旅所を御神幸のち、午後七時に表参道を選御されました。



志波彦神社例祭

去る三月二十九日、志波彦神社例祭が執り行われました。宮司以下祭員並びに猷幣使・責任役員・総代を始め氏子崇敬者一同、また縁故深い仙台市宮城野区岩切の八坂神社より参列がありました。

そもそも志波彦神社は、宮城郡岩切村の冠川のほとりに鎮座され、「延喜式」神名帳に名神大社として挙げられる由緒と格式を有した古社です。御祭神の志波彦大神は、国土開發・殖産興業の御神徳を以って、鹽竈大神の奥州平定に御助力された神であり、清和天皇の貞觀元年（八五九）に従四位下の神階を猷じられています。その後、京都より勧請された八坂神社と並び祀られて明治を迎えました。

明治四年（一八七二）に国幣中社の社格に列せられましたが、社地社殿ともに狭隘な状況を憂えた明治天皇の思召により、明治七年（一八七四）に鹽竈神社別宮に遷祀され、合祀がなされました。昭和十三年に新たに社殿が竣工し、同年九月二十八日、

浄園のなか新宮に遷座されました。社殿は近代神社建築の粋を凝らしたもので、本殿・拜殿ともに朱黒の極彩色塗りで、国費により造営された最後の社殿としても知られています。昭和三十八年に塩竈市有形文化財に指定されました。平成二十七年には遷祀百四十年を迎え、御社殿修復工事が行われました。

御神田に関わる行事や新嘗祭の際にはその御神徳を敬い、盛大に神事が執り行われます。



責任役員就任奉告祭

二月六日、鹽竈神社別宮において責任役員就任奉告祭が責任役員・総代参列のもと齋行されました。

今回責任役員に就任された阿部仁氏（㈱阿部亀商店代表取締役）に、宮司より委嘱状が交付されました。



委嘱状の交付

神馬塚慰霊祭

去る三月十八日、神馬塚の春季慰霊祭が齋行されました。

当日は、当社神馬代々の墓所である神馬塚（利府町十三本塚）に、米・酒のほか人参やフスマなどの神饌が捧げられました。

当社への神馬奉獻の記録は現存するものでは、文和五年（一三五六）の古文書にみられます。

鹽竈講社だより

飯坂千人講社祭

去る一月十日、鹽竈神社左右宮拜殿において、飯坂千人講社祭が齋行されました。

祭典に続き、永年の継続講員に表彰状・記念品が贈呈されました。ここに御芳名を紹介いたします。

◇三十年表彰

- 高橋 ヤス子・古内 利勝
- 寺島 美智子・佐藤 伝
- 武山 英明・佐藤 盛雄

◇二十年表彰

- 佐藤 裕美・齋藤 五郎

講社祭の御案内

- ・仙台千人講大祭 四月二十一日
- ・釜石講社祭 四月二十五日
- ・新潟亀田講社祭 五月十九日
- ・塩竈千人講大祭 六月二十三日
- ・講社大祭 十月十二日～十四日

各講員の皆様の御参拝をお待ちしております。



- 平成三十一年 継続講員表彰者(敬称略)
- ◇七十年表彰
 - 齋藤 美子・齋藤 静男
 - 堀江 征夫・佐藤 真裕
 - 堀江 寛・堀江 昭一
 - 木戸 弘
- ◇六十年表彰
 - 齋藤 工・堀江 政勝
 - 草野 隆・沢田 悦雄
 - 氏家 浩資・堀江屋旅館
 - 久間木 美知・伊藤 俊朗
 - 青柳 勝徳・堀江 進
- ◇五十年表彰
 - 今野 美喜子・佐藤 富野
 - 鈴木 勝
- ◇四十年表彰
 - 山田 邦男・村上 賢一
 - 高橋 義博

敬神婦人講だより

国旗小旗製作

昨年十一月の例会では恒例の国旗小旗製作を行いました。参加者は約七十名、二千五百本の国旗小旗が完成し、一般財団法人日本文化興隆財団に送られました。

平成三十一年新年会

一月二十一日、講員百三十二名参加のもと平成三十一年敬神婦人講新年会が開催されました。

宮司・講長挨拶に続き、「一月一日」を合唱、詩吟・詩舞のあと、乾杯、祝宴となりました。



敬神婦人講新年会

養成所通信

第七十四回卒業式

三月二十五日、当神職養成所第七十四回卒業式が挙行されました。

四名の卒業生は、父兄や御来賓の方々を始め講師・在生が見守る中、これからの希望を胸に式に臨んでいました。

合同実習に参加

一月二十三日から二十五日まで、神社本庁と明治神宮会館において平成三十年度神職養成機関普通課程合同実習IIが実施され、当養成所より一年生二名が参加しました。

本実習は、各養成機関生徒が一同に会し、相互に研鑽を深め神社界で奉仕する者としての連帯感の醸成を図るためのものです。

入所試験実施

三月十八日に神職養成所入所試験が実施され、一名が合格となりました。

作文・国語・社会の試験と面接が行われ、緊張した面持ちで臨んでいました。

四月六日には入所式が執り行われ、二年間の養成所生活が始まります。祭式・雅楽の集中講義をはじめ神職となるべく実習に励むこととなります。

す。また新二年生は後輩を迎え、自覚を新たに実習に励むことでしょう。

博物館だより

新春特別展終了報告

一月一日より二十日まで、「新春刀剣展」を開催し、会期中は約三千七百名の皆様にご来館頂きました。

本展示では美術品・文化的財産として高い価値を持つ日本刀について、作品を通してその魅力を紹介しました。会期中は宮城県美術刀剣保存協会の会員有志による展示解説が行われ、実際の刀剣外装を用いた丁寧な解説や、漫画による日本刀入門を作成しました。

国際博物館の日

来る五月十八日(土)はI COM(国際博物館会議)が定める「国際博物館の日」です。

社会における博物館が果たす役割に対する公衆の認識を高めることを目的とするもので、当館では当日は無料で御入館頂けます。御参拝の折には、ぜひお立ち寄り下さい。

奉納御礼

鹽竈神社東西廻廊に設置された庇を設計した、土井建築設計事務所土井儀憲殿より多額の浄財を御寄付頂きました。厚く御礼申し上げます。



舞踊奉納

去る二月二十四日、民謡舞踊「若泉流舞踊」の流派の発展と舞踊の研鑽精進を願う祈願祭が、若泉流五代目家元若泉徳栄氏をはじめ、関係者参列のもと斎行されました。祈願最後に舞殿において舞踊の奉納が執り行われ、参拝者が足を止め見入っていました。



「国旗のある自由画コンクール」入選作品展

一般社団法人国旗協会主催による「国旗のある自由画コンクール」の入選作品展が四月十七日(水)から五月十五日(水)まで神社絵馬殿にて開催されます。

入選作品は神宮をはじめ、全国の主な神社で展示されます。本年も多数の応募作品の

中から入選作品が選ばれ、宮城県からは、左記の方々が受賞しました。(敬称略)

金賞 小林 さくら (小学三年)

銀賞 八木 ひより (小学三年)

千葉 柊弥 (小学六年)

伊藤 咲葵 (幼稚園)

銅賞 齋藤 凪 (小学二年)

参拝記録

昨年十二月から本年二月にかけて当社を正式参拝された方々を左記に御紹介いたします。(敬称略)

平成三十年

十二月 二十五日 柏木 白光氏

平成三十一年

一月

三日 参議院議員(自民党)

愛知治郎氏

以下愛知会三十名

五日 塩釜ロータリークラブ
陸上自衛隊多賀城駐屯地

第二十二普通科連隊長

兼多賀城駐屯地指令

大場智寛 一等陸佐

以下隊員二十五名

十四日 大徳寺照輝氏

十六日 立正佼成会 仙台教会長 近藤雅則氏

十七日 高橋弘平氏

十九日 宮城県神道青年協議会

「大寒禊研修会」参加者二十名

二十日 岩沼市・竹駒神社 村田守広宮司

二十六日 東北ブロック商工会議所青年部連合会

中山佳会長以下六十名

二十九日 責任役員・総代会同会

二月

二十四日 仙台市・宮城縣護國神社 田中於菟彦宮司

二十六日 東京都・靖國神社社務実習生 三名

「株東日本ソルト 三名

資料紹介

「伊達綱村公書状」

今回は、博物館の収蔵品より仙台藩四代藩主伊達綱村公の書状を御紹介いたします。綱村公は、歴代藩主のなかでも特に敬神の念厚く、特令により塩竈のまちを保護したことでも知られています。鹽竈神社に関わる綱村公の事績のうち最も重要なものとして、元禄六年(一六九三)に「鹽竈神社縁起」を選定して左宮・右宮・別宮の三座の御祭神を明確にしたことがあ



げられます。

縁起作成に関する調査は長期間におよび、その記録は「神社御用之物」として仙台市博物館に一括保存されています。総数二百数十点程のうち約百六十点が鹽竈神社関係の記録で、これらから、家臣による実地調査をもとに綱村公自ら考証に加わり、草案の筆をとったことがわかります。

本書は、綱村公から鹽竈神社別当・法蓮寺の住職である円鏡に宛てられたもので、縁起作成事業が大詰めとなる元禄五年(一六九二)のもの

とみられます。円鏡は南部の出折身で、寛文六年(一六六六)から延宝五年(一六七七)原まで法蓮寺八世の住職を務めたのち京都にありました。綱村公の命に因り、元禄五年から同十一年まで法蓮寺十三世として再住しています。綱村公の信任厚い高僧の一人で、鹽竈神社の発展に大きな功績をあげた人物です。

書状の内容は、円鏡に対し御祭神・御神体について問い合わせたもので、御祭神について綱村公一人で推断するのは畏れ多く、最終的には神道の権威である京都の吉田家に考証を依頼すること、御神体に関する「神秘の儀」について筆談で済ますことはできないので家臣を派遣して話を伺いたい旨が述べられています。

縁起の選定が綱村公主導のもとに進められたことや、その過程での公の真摯な姿勢がうかがえる資料です。

打続雨天二候、其許御安全之御事候哉、然は先日参詣之節承知仕候御神体之儀、一人ニテは難致吟味候、其上以下官一心相究候事、無勿体候、畢竟吉田家承合外無之候、先日申候通、不苦候ハ、桑名松雲ニ申聞吟味仕度候、幸今程時祭ニ付テ齋戒之節二候、此節申聞度候、申聞候ハ、松雲上洛致吟味可然候、神秘之儀、筆談は不可然存候、貴老工相談申候、松雲工申聞苦間敷と存候ハ、今日申可申聞候、返答待入候、頓首

八月二十六日(花押) 陸奥守 円鏡房

国家安泰 五穀豊穰 家内安全

祭事暦 (四月から六月まで)

毎月	朔日	祭	曲木神社月次祭
六日	御釜神社月次祭	祭	御釜神社月次祭
十日	鹽竈神社月次祭	祭	鹽竈神社月次祭
二十九日	志波彦神社月次祭	祭	志波彦神社月次祭
四月	一日	祭	天皇皇后両陛下下 御結婚満六十年奉祝祭
二十八日	鹽竈神社花まつり	祭	鹽竈神社花まつり
二十九日	昭和三	祭	昭和三
五月	十日	祭	鹽竈サクラの日祈願祭
十一日	御神田御田植祭	祭	御神田御田植祭
十二日	氏子崇敬会春季大祭	祭	氏子崇敬会春季大祭
六月	三十日	祭	夏越大祓式
大漁満足	海上安全	安産祈願	

防災訓練実施

去る一月二十五日、文化財防火デーに伴い、当社自衛消防隊と塩釜地区消防事務組合本部、並びに塩竈消防団、当社氏子青年会自衛消防隊など、各関係機関が参加して消防訓練が実施されました。



参加者たちは初期消火・避難誘導・宝物搬出・放水訓練などに取り組みました。

東北式内社顕彰会

当社に本部を置く東北式内社顕彰会は三月十九日〜二十日に「第七回巡拝会」を青森県において実施しました。

八名の参加者は、櫛引八幡宮を正式参拝し、国宝館を拝観しました。その後八戸酒造を訪れ、国登録有形文化財の酒蔵を見学、翌日は善知鳥神社を正式参拝、ねぶたの家ワ・ラッセや八甲田丸を見学し帰途に就きました。

宿泊地のまかど温泉では、会員の交流が深め合われました。同会は式内社宮司を中心に構成され、近年は一般の歴史愛好家の参加も増えています。

文芸欄

加瀬沼の薄氷揺らす鴨の胸
店蔵の猫が爪研ぐ春障子
田の神の在す祠や春浅し
仙石線海の鉄橋ゆく余寒
行く先を任せし旅や目借時
レジ打ちの店主の笑顔日脚伸ぶ
豆打つて余生をつなぐ鬼やらひ
目薬にはじまる一日寒明くる
バイキング朝の一品蜆汁
牙返る秘湯の宿のうつばりは

- 神野 礼モン
- 渡辺 智賀
- 太田 サチコ
- 武田 香津子
- 佐々木 和子
- 上田 由美子
- 今田 須美子
- 横田 みち子
- 大友 セツノ
- 山田 桃晃

帰幽

横田 善三郎殿

塩竈市 海岸通

当社社責任役員横田善三郎殿には昨年十二月十日逝去されました。享年八十三歳。

同氏は昭和五十四年六月に総代に就任され、平成八年からは責任役員として、四十年の長きにわたり神社の護持運営並びに御神徳発揚に御尽力されました。

第十七・十八回の二度にわたる鹽竈神社式年遷宮では、総代また責任役員として参画されました。

当神社に対します多大な御功績・御尽力を偲び、謹んで御冥福をお祈りいたします。

銅板奉納者芳名

昨年十二月から本年二月にかけて多くの方々より銅板の奉納を頂きました。(敬称略)

十二月 埼玉県 齊間 陽晃
ほか五六名

一月 山形県 黒坂 一郎
ほか七四名

二月 大阪府 谷口 典男
ほか四五名

ご結婚
おめでと
ごぞいます

人事異動

- 昇級 (三月十日付)
神職身分二級
権祢宜 菅原 慶太
" 菊池 重忠
- 新任 (三月三十日付)
巫女見習 小林 莉沙
" 氏家 華
- 退職 (三月三十一日付)
社務員 伊勢 彰博

「平成最後の社報一七七号
をお届けします。(慶)